



## 令和3年度第1回広域計画等推進委員会の開催結果について

令和3年6月26日

本 部 事 務 局

令和3年度第1回広域計画等推進委員会（座長：新川達郎同志社大学名誉教授）を開催し、第5期広域計画策定に向け、関西広域連合が目指すべき関西の将来像、今後の関西広域連合の果たすべき役割などについて、各委員から意見聴取をしました。

なお、推進委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインにより開催しました。

(1) 開催日時 令和3年6月9日（水）15時30分から17時30分

(2) 出席委員 別紙のとおり

(3) 委員からの主な意見等

## ○第5期広域計画策定に向けて（全般）

- ・ 第5期広域計画では、地域資源の活用、地域経済の循環などの視点を取り入れてもいいのではないか。地域ぐるみで雇用と、暮らしを作っていくというような視点がもう少し出せればいい。
- ・ 第5期広域計画には、事前の防災対策など、今までないような新たな視点を入れていただきたい。
- ・ 新たな計画では、脱炭素社会とか事前の防災とか。合意しやすいものをまず鮮明にしていきたい。

## ○関西広域連合が目指すべき関西の将来像

- ・ カーボンニュートラル、脱炭素社会を実現するということを念頭に置いたGX（グリーントランスフォーメーション）の視点を盛り込んだ方がいいのではないか。
- ・ 第5期広域計画では分散型社会を進めていくことをもっと明確にしていく必要があるのではないか。
- ・ 分散型社会をつくっていくという文脈の中に民間資金の活用も含め、地域の本当の社会課題を解決するということに資金を振り向けようという動きを組み込んで提案ができればいいのではないか。

## ○今後の関西広域連合の果たすべき役割等

- ・ 関西広域連合版のGX（グリーントランスフォーメーション）を全面に出していくというのも今後必要ではないか。
- ・ 防災対応を、これまでの事後対応から、アメリカのように、事前対策に変えていかなければならない。

また、近畿地方整備局などの国の機関と一緒にやってみて、あり方、課題を検討した方がうまくいくのではないか。

- ・ 獣害など府県をまたいで連携した方がいいものについては、関西広域連合で現場が連携できるような体制などを提案してもらいたい。
- ・ 農業の ICT は進んできている。構成団体の切磋琢磨につなげるために関西広域連合として、ICT の情報を共有していただきたい。

### ○ポストコロナ対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大で危機対応とか経済とか文化、暮らし等についてどういう影響があったのかというのを、後の世代のためにもまとめていただきたい。
- ・ 防災や減災体制について、感染症リスクの観点から何かあった時の体制をもう一度、見直さなければならないのではないかな。
- ・ ポストコロナの観光については、インバウンドは東アジアばかり見るのでは無く、範囲を欧米オセアニア等にも広げ、かつ、量ばかり追うのではなく、質の向上（瀬戸内海も含めた滞在型等）を図るべき。  
また、国内観光を充実させるとともに、長期的な視野に立って考えるべきである。
- ・ 関西のマイクロツーリズムについて、民間と連携しながら、提案していけたらいい。

### ○関西広域連合の広報戦略について

- ・ 「KANSAI STYLE 2025 ビジョン」（仮称）を特に若い世代にPRすることが重要。そのためには、企画コンペなどの巻き込み型により、学生たちをそのPRの主体に回すことが重要となる。
- ・ 「KANSAI STYLE 2025 ビジョン」（仮称）については、大阪・関西万博の情報を共有しながら、作り込み、検証しながら固めていくべきである。
- ・ 東京一極集中是正については、大阪・関西万博から活性化につなげていくというストーリーを作るべき、国と連携して関西というだけでなく、日本の代表地域としてアピールをするような動きをするべきではないか。若い方々などに注目をして広報的な戦略を、しっかりとグローバルに、国内的にも両方やっていく必要がある。

### 【今後の対応予定】

- ・ 各委員からの意見を参考に今後、第4期広域計画の検証を行い、第5期広域計画の策定に向けた作業を進めていく。
- ・ 2025年の大阪・関西万博を見据え、第5期広域計画をわかりやすくまとめ幅広い層へ広報・PRを行うことを目的とした、「KANSAI STYLE 2025 ビジョン」（仮称）の作成を検討する。

令和3年度第1回広域計画等推進委員会 出席者名簿

氏名	主な役職等
渥美 由喜	厚生労働省 政策評価に関する有識者会議委員
上村 多恵子	京南倉庫(株)代表取締役
大浦 由美	和歌山大学観光学部副学部長
加渡 いづみ	四国大学短期大学部教授
河田 恵昭	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長
衣笠 愛之	(有)夢前夢工房・(株)兵庫大地の会代表取締役
○木村 陽子	奈良県立大学理事
坂上 英彦	嵯峨美術大学名誉教授
◎新川 達郎	同志社大学名誉教授
松永 桂子	大阪市立大学大学院准教授
山口 美知子	(公財)東近江三方よし基金常務理事

◎座長、○副座長